

就農に必要な技術や知識を学ぶ

未来農業のフロンティア育成研修

試験研究機関（農業試験場、果樹試験場、畜産試験場）で2年間、実習や実習、試験研究員の試験補助作業などを通じて、農業技術や経営の基礎知識や基本的な栽培技術を学ぶことができます。研修後半は生産者や農業生産法人で現地研修も可能です。

○要件

- ①新たに農業を始めようとする方、または農業を営んでおり、農業で自立する意欲が高く、研修修了後、県内で就農できることが確実であること
- ④申込み時点で原則50歳未満であること

○研修期間

2年間（4月～翌々年3月までの24ヶ月間）

○研修助成

- ①研修奨励金（月額7万5千円～）
 - ②農業次世代人材投資資金「準備型」（年間150万円）
- ※上記①、②の重複受給はできません。

○その他

- ①希望品目に応じて、作物、野菜、花き、果樹、畜産の各コースを選択できます。
- ②募集人数に限りがあります。また、選考試験があります。

農の雇用事業

農業生産法人などで働きながら、独立、または継続雇用に必要な農業技術や経営手法を学ぶことができます。

○主な要件（※ 研修生・受入経営体には他にも諸要件があります）

- ①就農意欲が高く、研修修了後も継続して就農できる強い意志があること
- ②正社員として就業を開始している方で、採用時の年齢が50歳未満であること

○研修期間

1年～最長2年間（雇用就農者育成タイプ）、1年～最長4年間（法人独立支援タイプ）